

栗田工業株式会社

2018年3月期 第2四半期決算説明会

(証券コード: 6370)

2017年11月1日

I 2018年3月期上期実績

II 2018年3月期通期計画

III 重点施策

参考資料

I. 2018年3月期上期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業(電子産業向け)
5. 水処理装置事業(一般産業向け)
6. サービス事業売上高
7. 海外事業売上高
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費
9. 財政状態

1. 業績ハイライト

(単位: 億円)

	2017/3期 上期実績	2018/3期 上期期初計画	2018/3期 上期実績	前年同期比
受 注 高	1,125	1,120	1,253	+ 11.4%
売 上 高	1,038	1,040	1,081	+ 4.1%
営 業 利 益	96	77	102	+ 5.3%
経 常 利 益	96	79	103	+ 6.6%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	65	53	74	+ 13.3%

- 水処理薬品事業における新規連結と水処理装置事業における大型受注により、受注高が大幅に増加。
- 水処理装置事業の原価率が改善し、営業利益が増加。
- 政策保有株式の売却益を特別利益に計上。

為替レート (単位: 円)	2017/3期 上期	2018/3期 上期
USD	111.81	112.37
EUR	124.62	121.64
RMB	17.07	16.39

I. 2018年3月期上期実績

2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

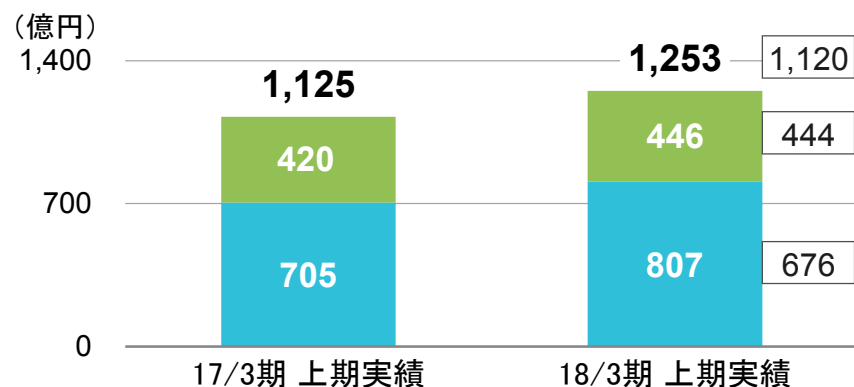
■ ● 水処理薬品事業

■ ● 水処理装置事業

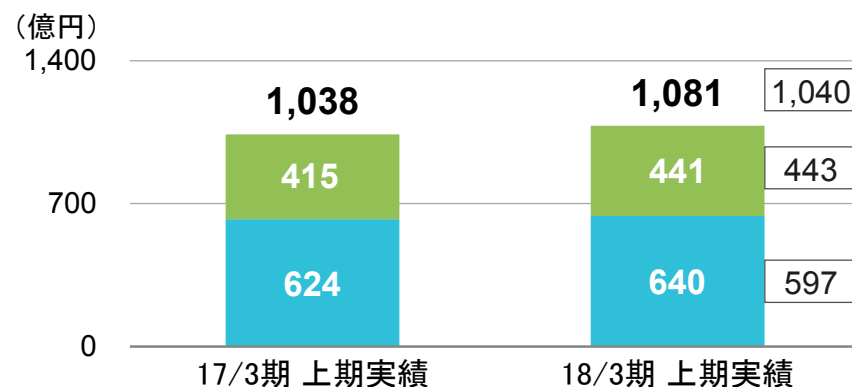
● 全社

* □ 内は期初計画

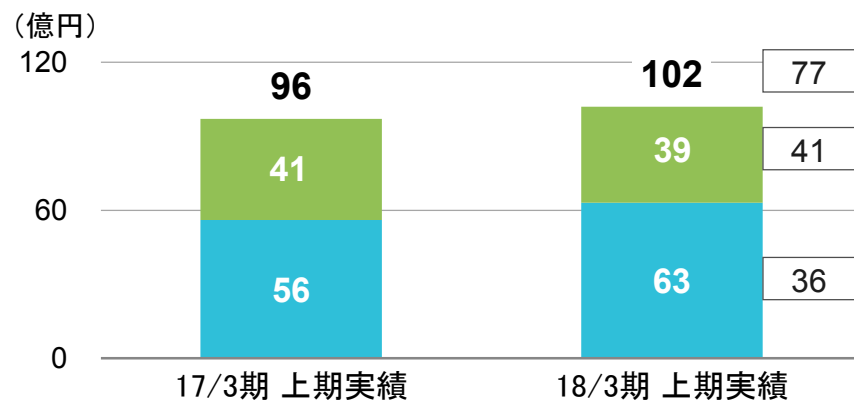
受注高



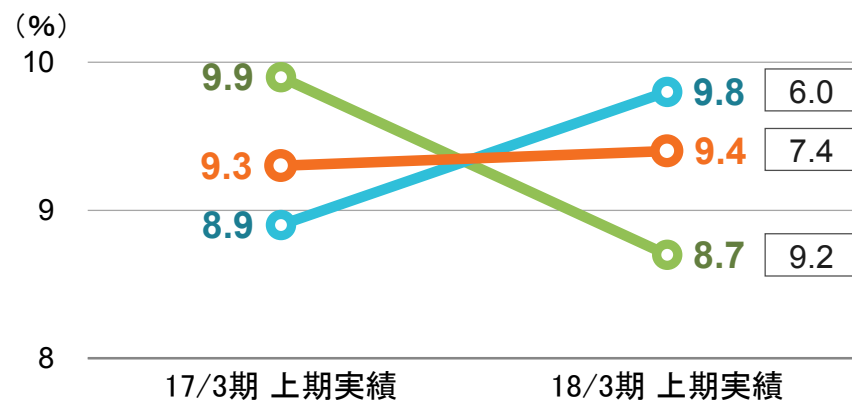
売上高



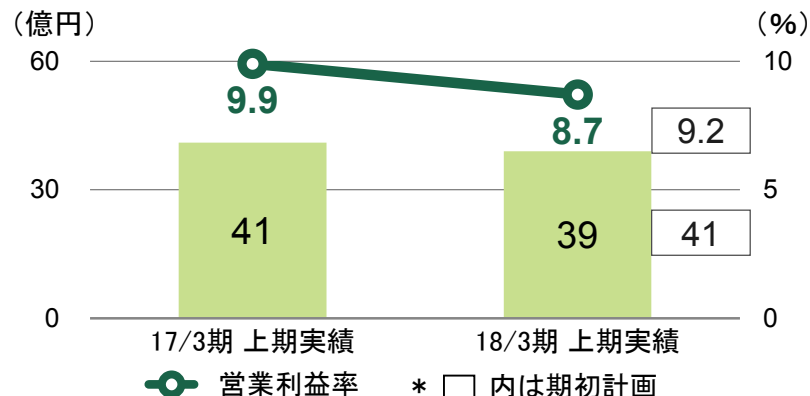
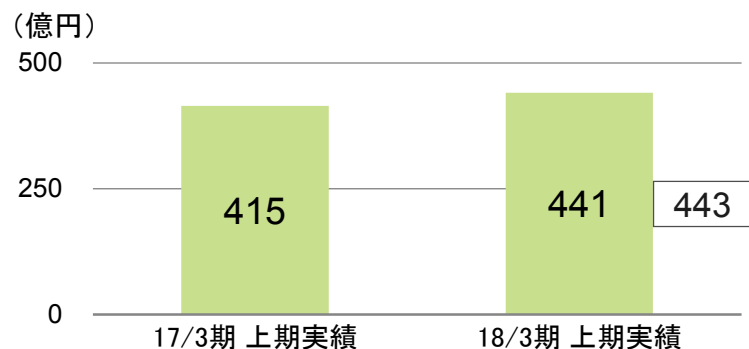
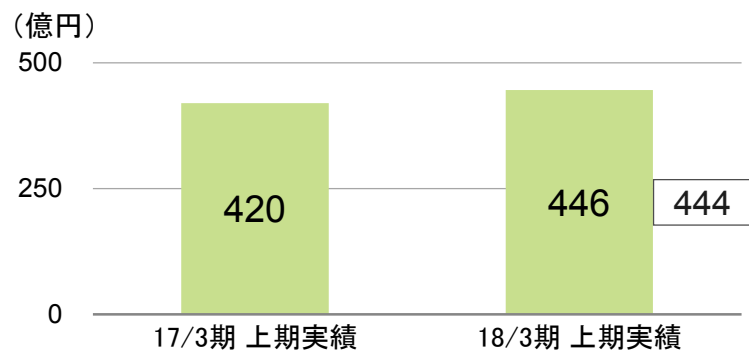
営業利益



営業利益率



3. 水処理薬品事業



受注高

- 国内受注高は前年同期比2.7%増。
- 海外受注高は新規連結により前年同期比10.1%増。

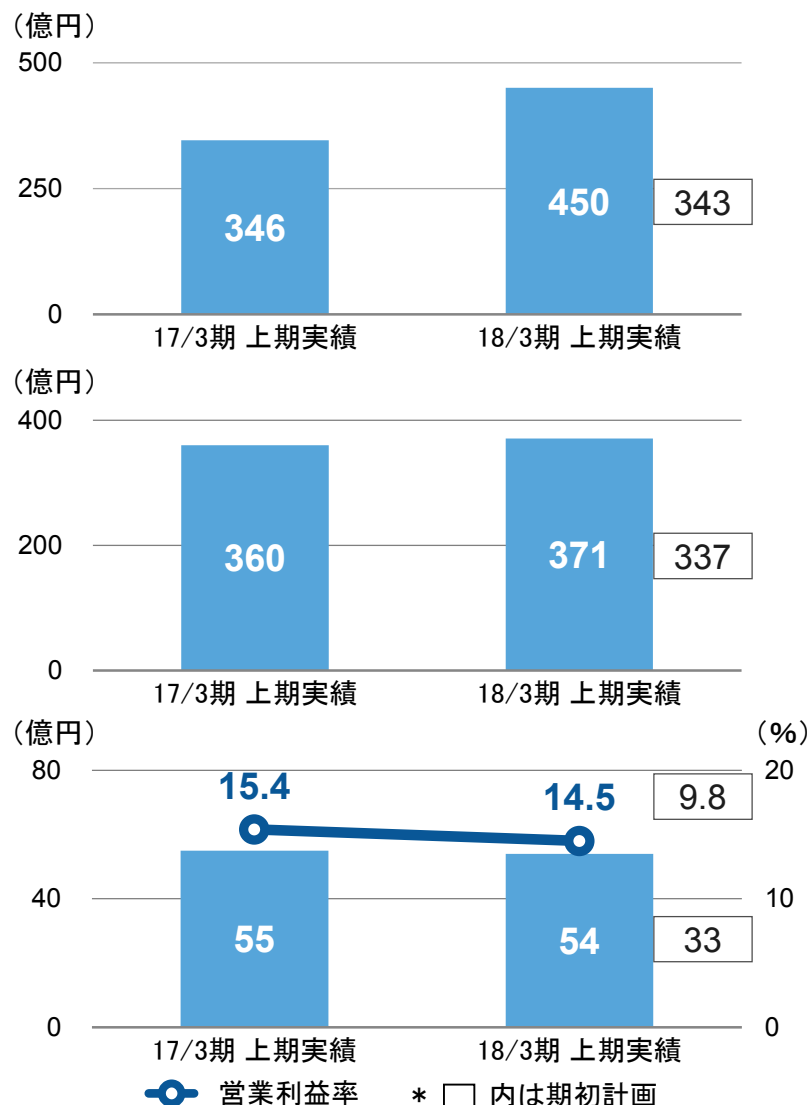
売上高

- 国内売上高は前年同期比3.2%増。
- 海外売上高は新規連結により前年同期比9.8%増。
- 新規連結の影響を除く海外売上高は前年同期比約1%増。
- 国内ではボイラ薬品、冷却水薬品、プロセス薬品が伸長。

営業利益

- 増収効果の一方、販管費の増加により減益。
- 原価率はほぼ横ばい。

4. 水処理装置事業（電子産業向け）



受注高

- 国内ハードが半導体向け大型案件を受注。
- 海外ハードが中国・韓国向けで大型案件を受注。
- 超純水供給事業が契約変更の影響により減少。
- 国内メンテナンスが顧客設備の増強・補修により増加。

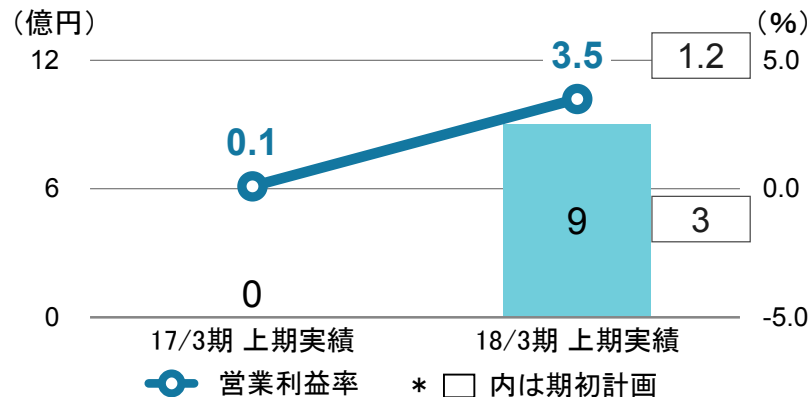
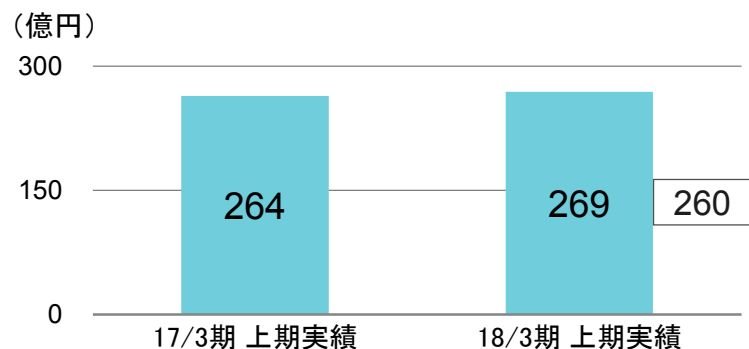
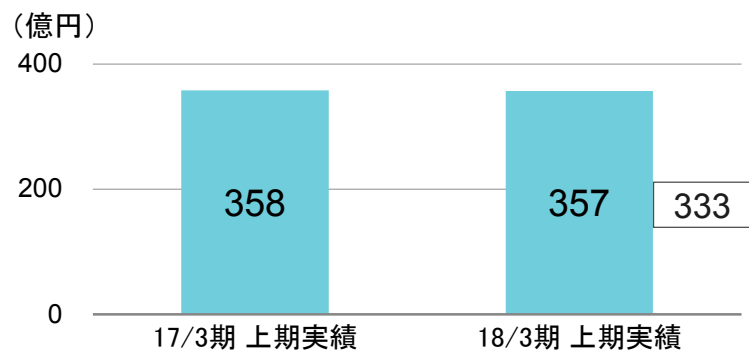
売上高

- 国内ハードが工事進捗により増加。
- 国内メンテナンスが顧客増産対応により増加。
- 超純水供給事業が契約変更の影響により減少。

営業利益

- 超純水供給事業の減収によるマイナス。
- 海外事業の増収と原価率改善によるプラス。

5. 水処理装置事業（一般産業向け）



受注高

- 土壌浄化が大型案件を受注。
- 一般産業向けメンテナンスが老朽化対応や新增設需要を取り込み増加。
- 官公需メンテナンスが減少。

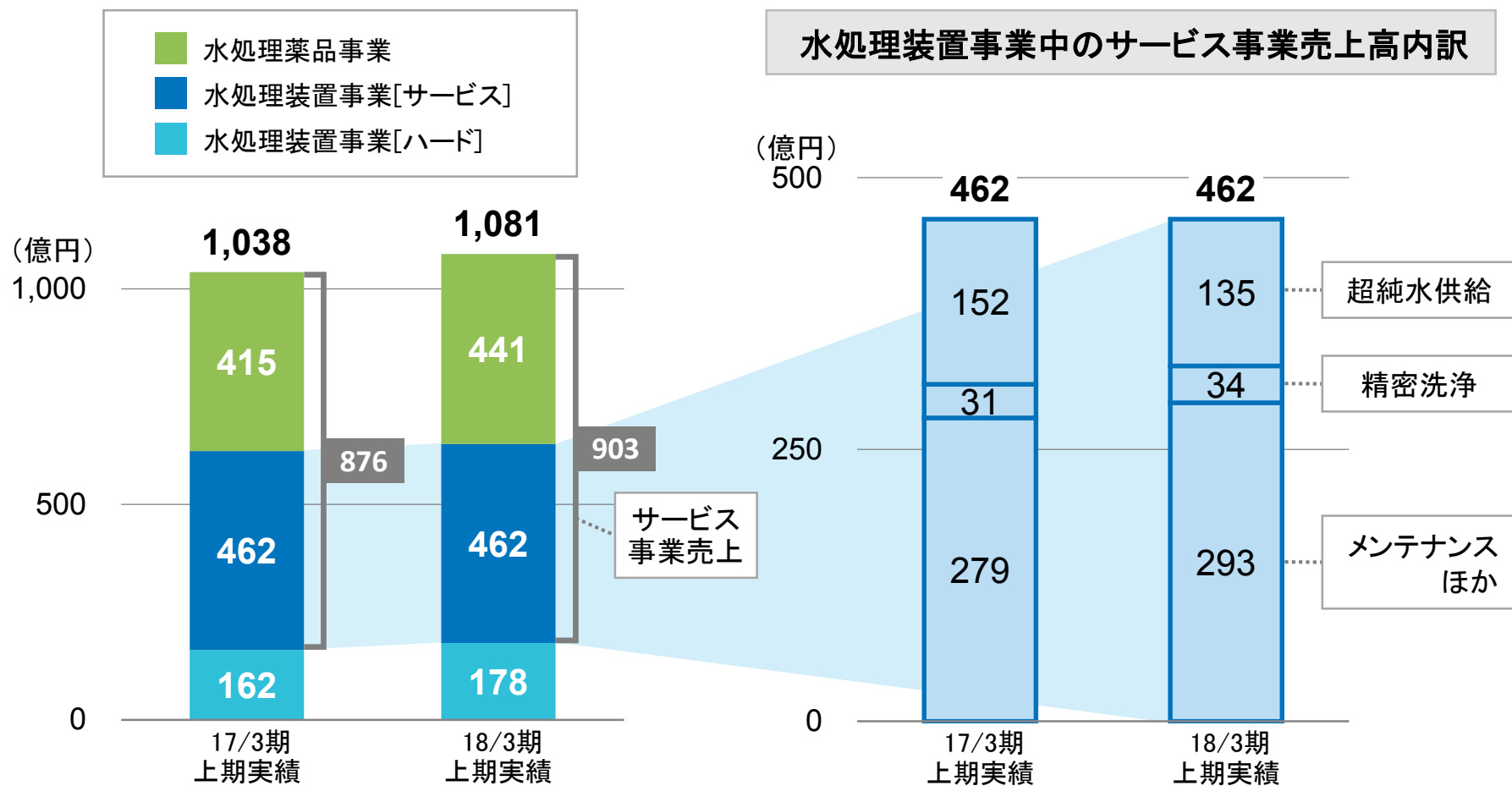
売上高

- 電力向けハードは微増収。
- 化学洗浄事業が増収。
- 土壌浄化が減収。

営業利益

- ハード、サービスともに原価率が改善。

6. サービス事業売上高



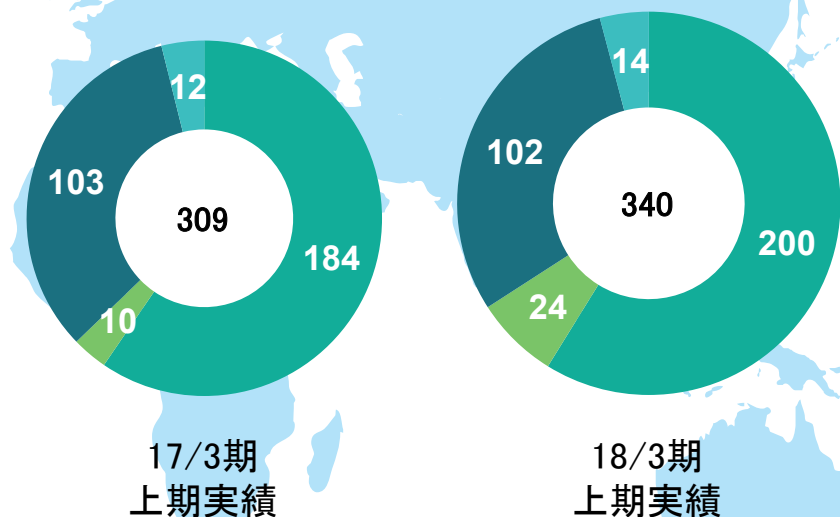
- 超純水供給事業は国内で減収、海外で増収だが、期初想定は上回る。
- 精密洗浄事業とメンテナンスは堅調な顧客稼働を背景に増収。

7. 海外事業売上高

海外地域別売上高

アジア 北米 EMEA その他

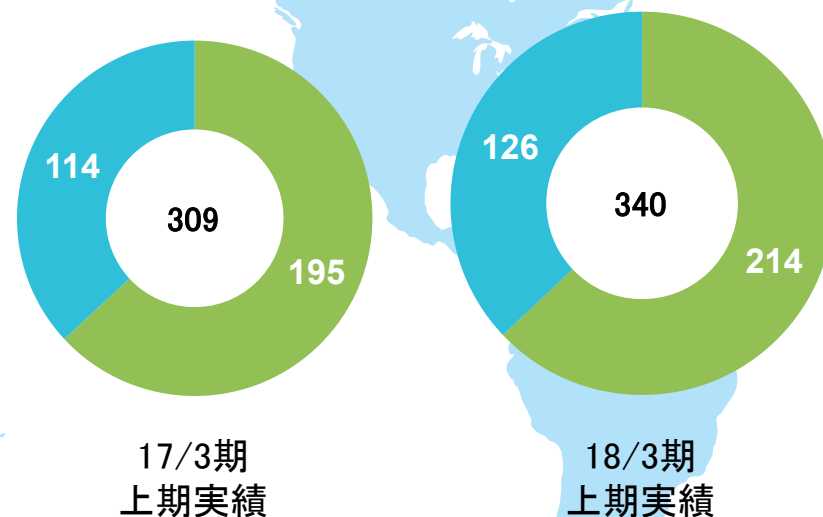
(単位:億円)



海外事業別売上高

水処理薬品事業 水処理装置事業

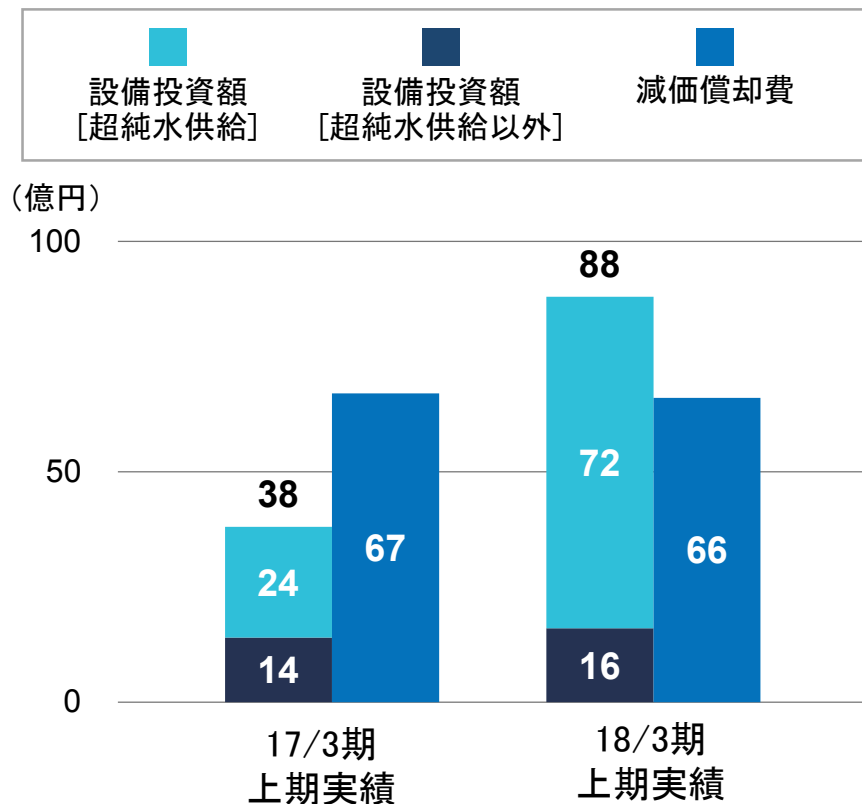
(単位:億円)



- 水処理薬品事業、水処理装置事業ともに増収。
- 為替換算による影響は軽微。

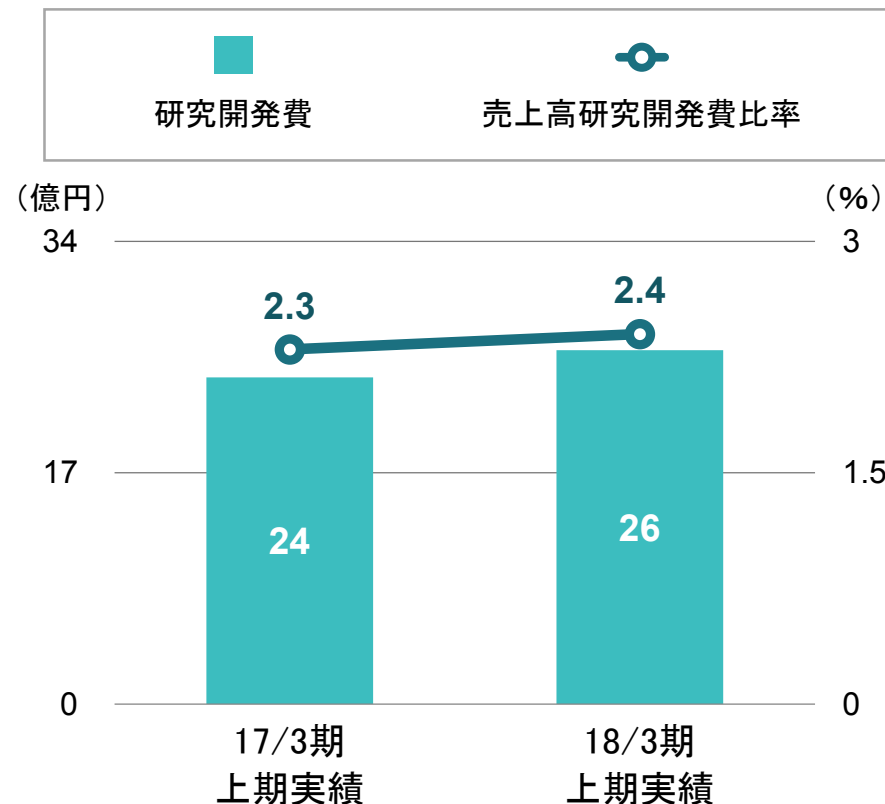
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



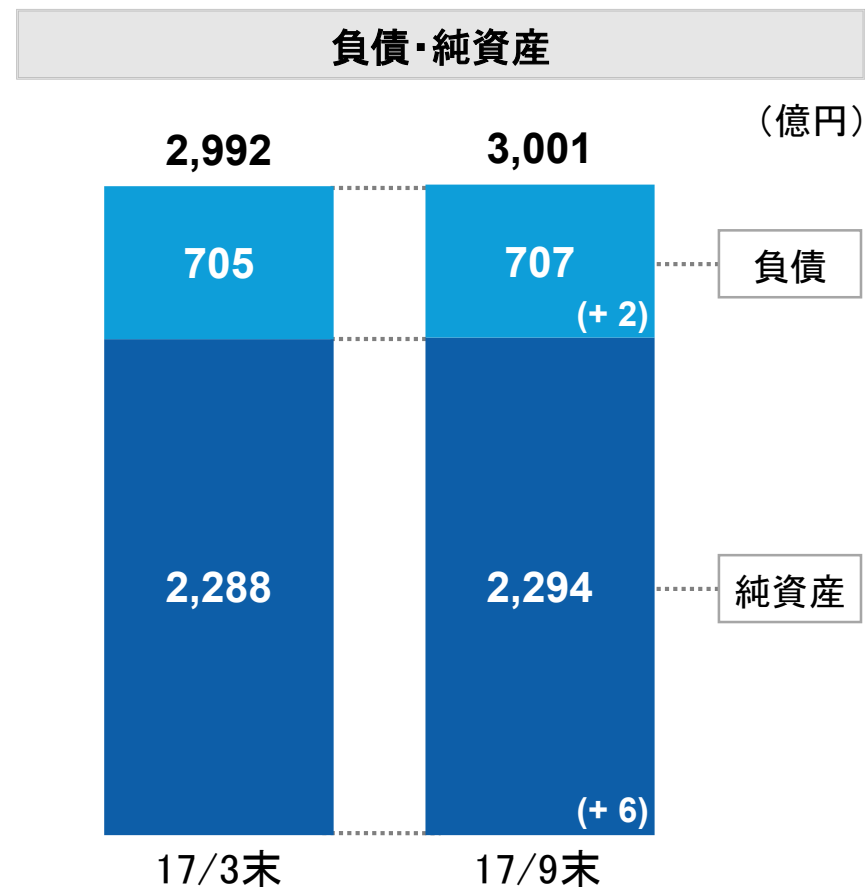
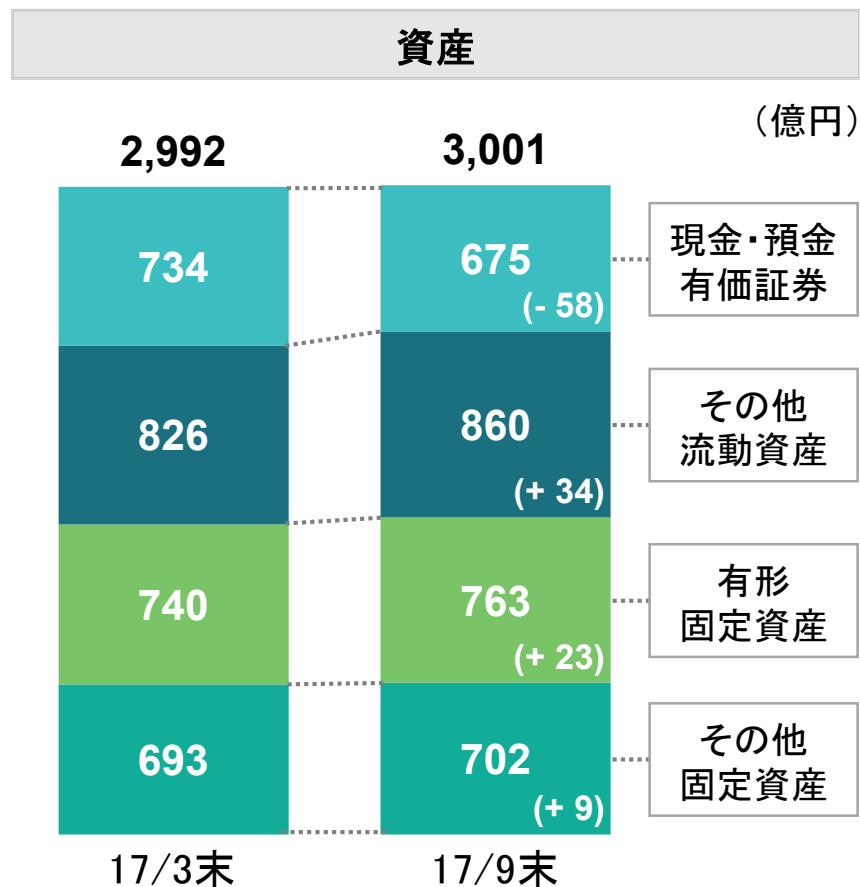
- 超純水供給事業の設備投資が順調に進捗。
- 減価償却費は期初計画に沿った推移。

研究開発費



- 研究開発費は期初計画に沿った推移。

9. 財政状態



- 超純水供給事業用設備の設備投資が減価償却費を上回り、有形固定資産が増加。
- 売上債権やたな卸資産の増加に加え自己株式の取得により手元資金が減少。

Ⅱ. 2018年3月期通期計画

1. 外部環境
2. 概要
3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
4. 水処理薬品事業
5. 水処理装置事業（電子産業向け）
6. 水処理装置事業（一般産業向け）
7. サービス事業売上高
8. 超純水供給事業の売上高計画
9. 超純水供給事業の主な案件
10. 海外事業売上高
11. 設備投資・減価償却費・研究開発費

1. 外部環境

水処理薬品事業

- 国内製造業の堅調な生産活動を見込む。
- 欧州・米国・アジアの景気は堅調な推移を見込む。

水処理装置事業

- 国内電子産業の生産活動と設備投資は堅調を見込む。
- 電力と一般産業における設備投資は概ね横ばい基調。
- 国内の電子産業以外で老朽化設備の更新・増強と効率化対応が積極化。
- 海外では中国・韓国の半導体・FPD関連の活発な投資が継続。

2. 概要

(単位:億円)

	2017/3期 実績	2018/3期 期初計画	2018/3期 修正計画	前期比
受 注 高	2,187	2,210	2,380	+ 8.8%
売 上 高	2,142	2,230	2,300	+ 7.4%
営 業 利 益	195	185	210	+ 8.0%
経 常 利 益	201	190	215	+ 7.1%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	145	130	150	+ 3.4%

- 国内外の電子産業における活発な設備投資を前提に受注高の計画を上方修正。
- 受注高の伸びを背景に売上高の計画を上方修正。
- 水処理装置事業の原価率改善を前提に利益計画を上方修正。

為替レート (単位:円)	2017/3期 実績	2018/3期 計画
USD	108.84	112.00
EUR	120.33	124.00
RMB	16.37	16.40

3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

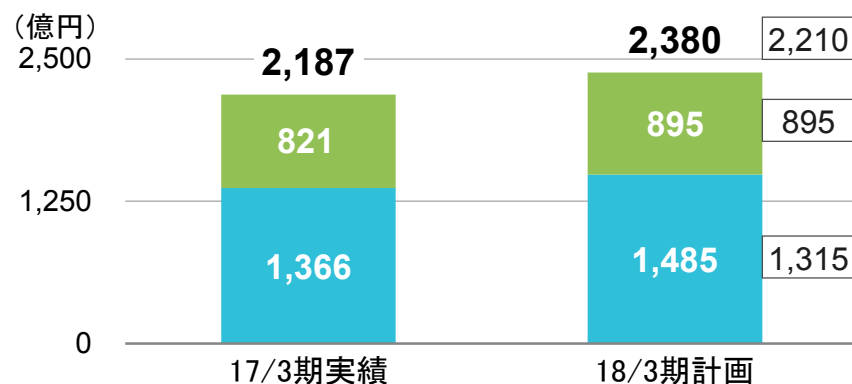
■ ● 水処理薬品事業

■ ● 水処理装置事業

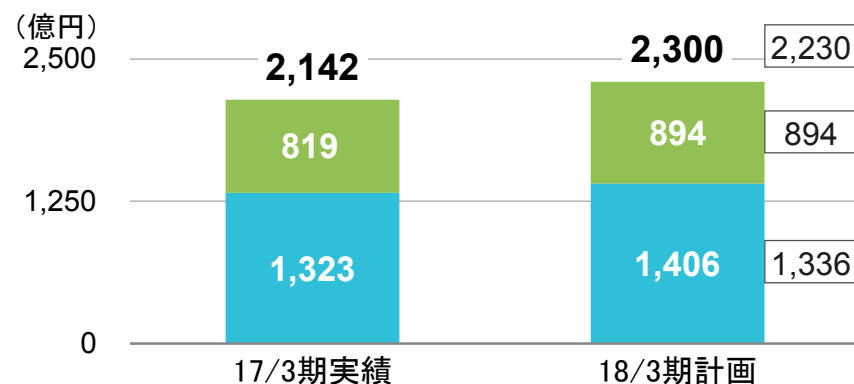
● 全社

* □ 内は期初計画

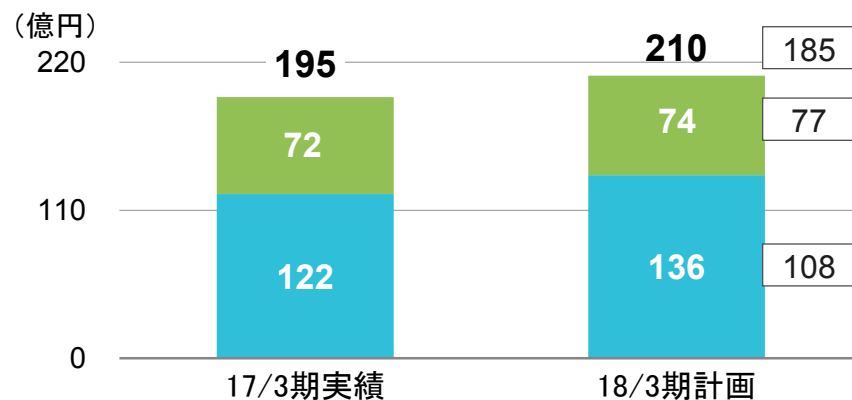
受注高



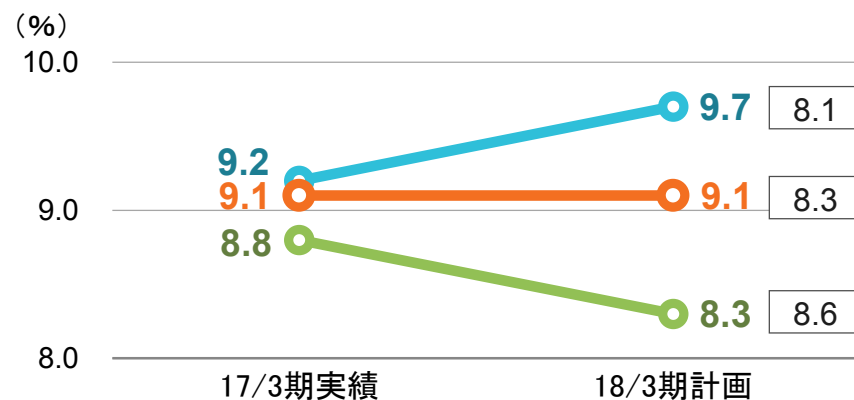
売上高



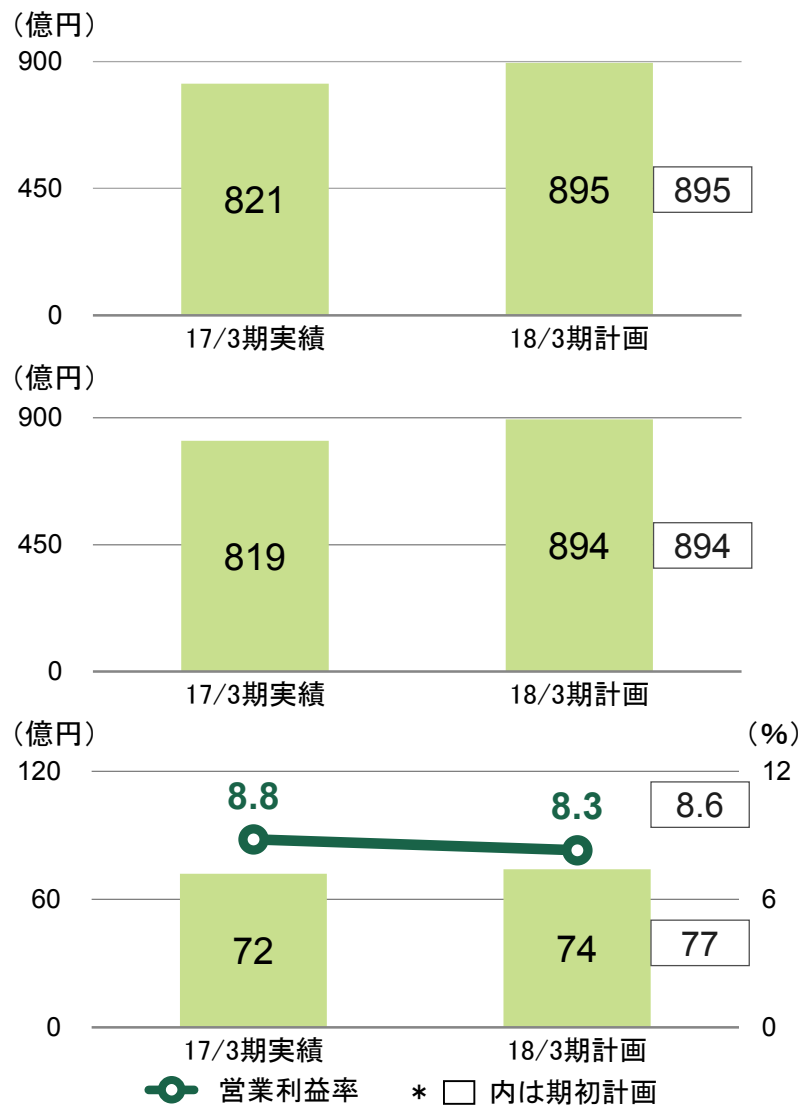
営業利益



営業利益率



4. 水処理薬品事業



受注高

- 国内では2%の増加を見込む。
- 海外では新規連結込みで16%の増加を見込む。

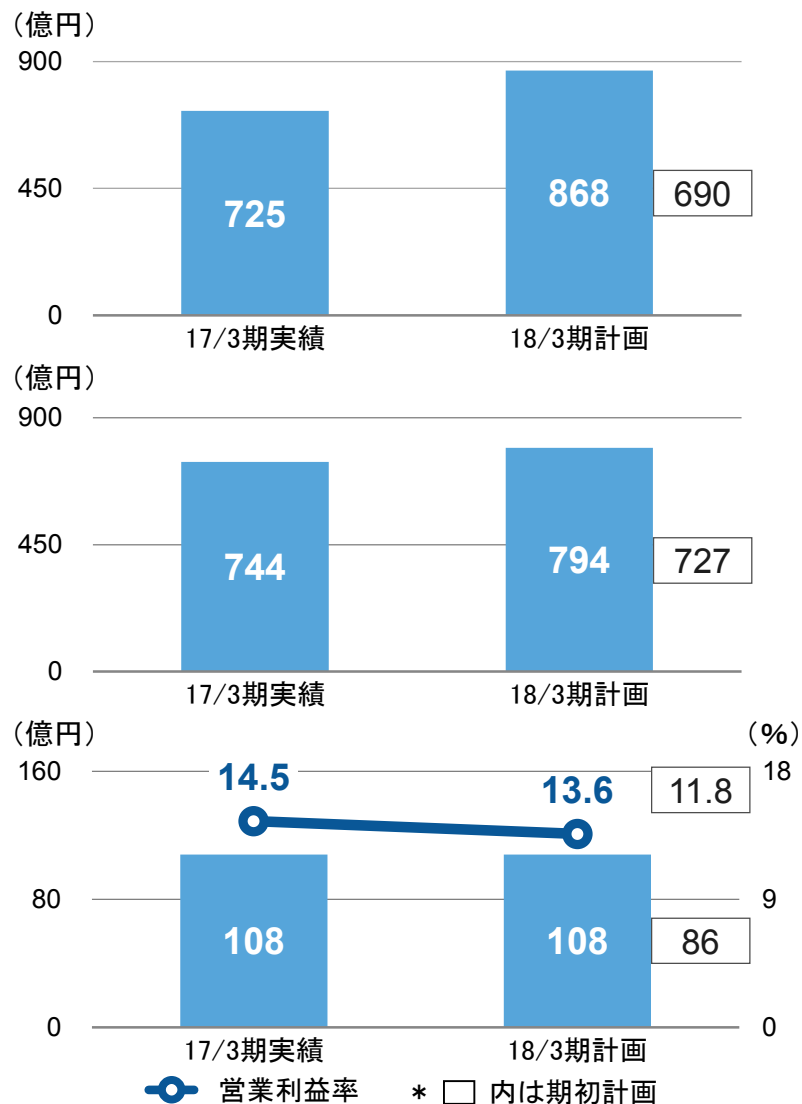
売上高

- 国内では3%の増収を見込み期初計画を上方修正。
- 海外では新規連結込みで16%の増収を見込むが、期初計画に対しては下方修正。

営業利益

- 上期の計画未達を通期計画に反映。
- 原価率に大きな変動はない前提。

5. 水処理装置事業（電子産業向け）



受注高

- 国内ハードは上期の受注実績を加味し通期計画を上方修正。
- 海外ハードは中国・韓国の旺盛な需要を反映し通期計画を上方修正。

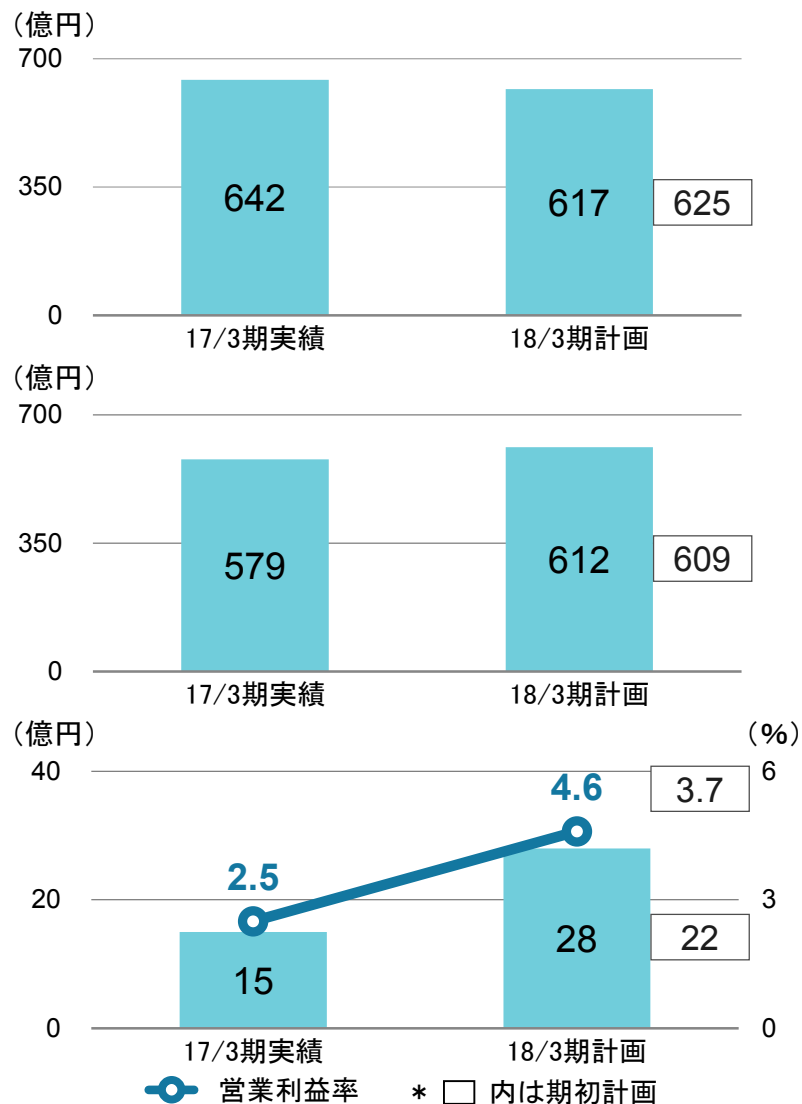
売上高

- 国内ハードは上期の受注を反映し上方修正。
- 海外ハードも上期の受注を反映し上方修正。
- 超純水供給事業は国内外で期初計画を若干上方修正。

営業利益

- ハードが増収に加え原価率も改善。
- 国内メンテナンスや精密洗浄の利益が拡大。

6. 水処理装置事業（一般産業向け）



受注高

- 土壌浄化は上期の実績を踏まえ通期計画を上方修正。
- 電力向けと一般産業向けハードは上期実績を反映し通期計画を下方修正。

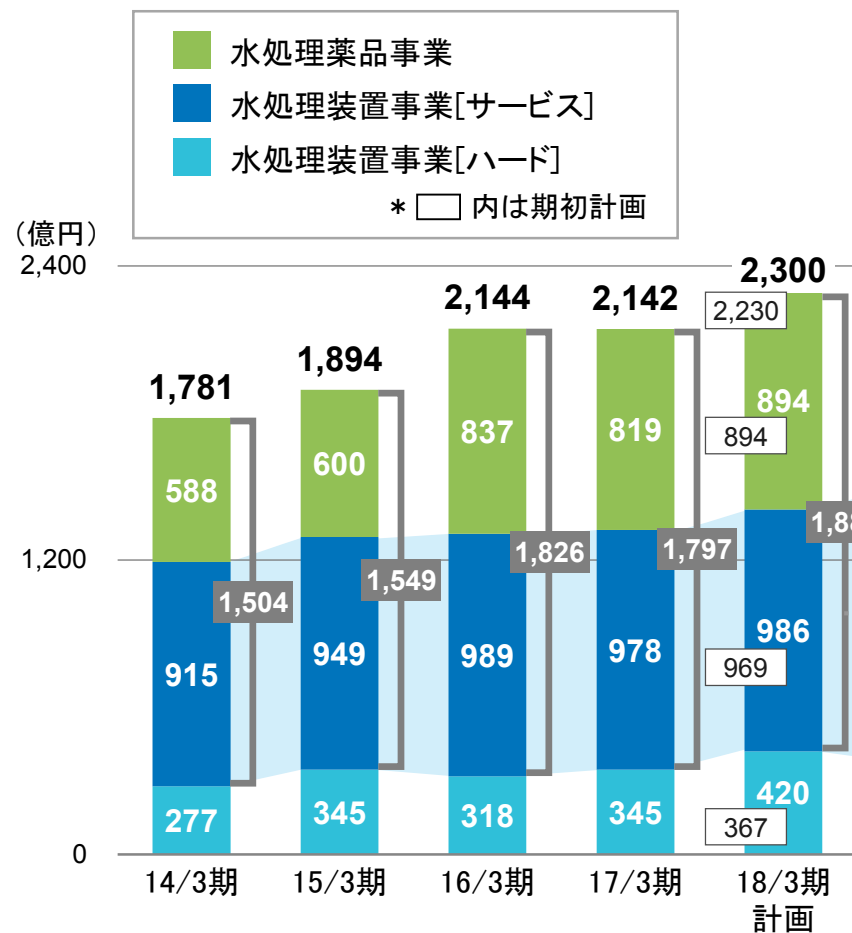
売上高

- 電力向けと一般産業向けハードは通期計画を下方修正するも前期に比しては増収。
- 一般産業向けメンテナンスは通期計画を上方修正し前期に比しても増収。

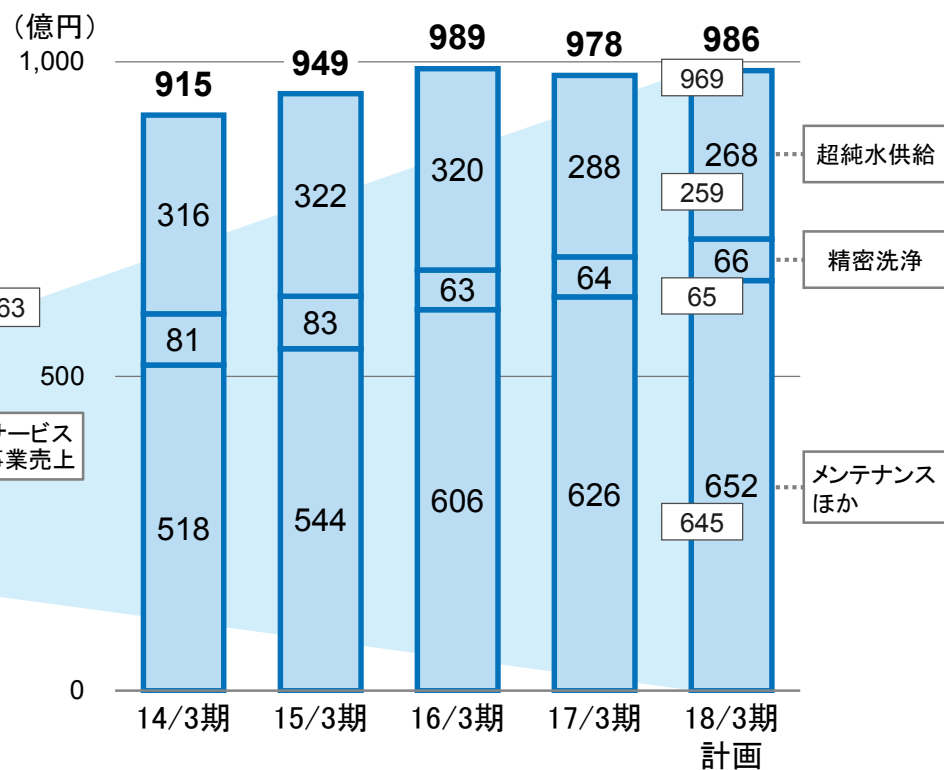
営業利益

- 電力向けと一般産業向けハードの収益性が改善。
- 一般産業向けメンテナンスや化学洗浄事業の利益計画を上方修正。

7. サービス事業売上高



装置事業中のサービス事業売上高内訳



- 超純水供給事業の計画を上方修正。
- 一般産業向けメンテナンスの計画を上方修正。

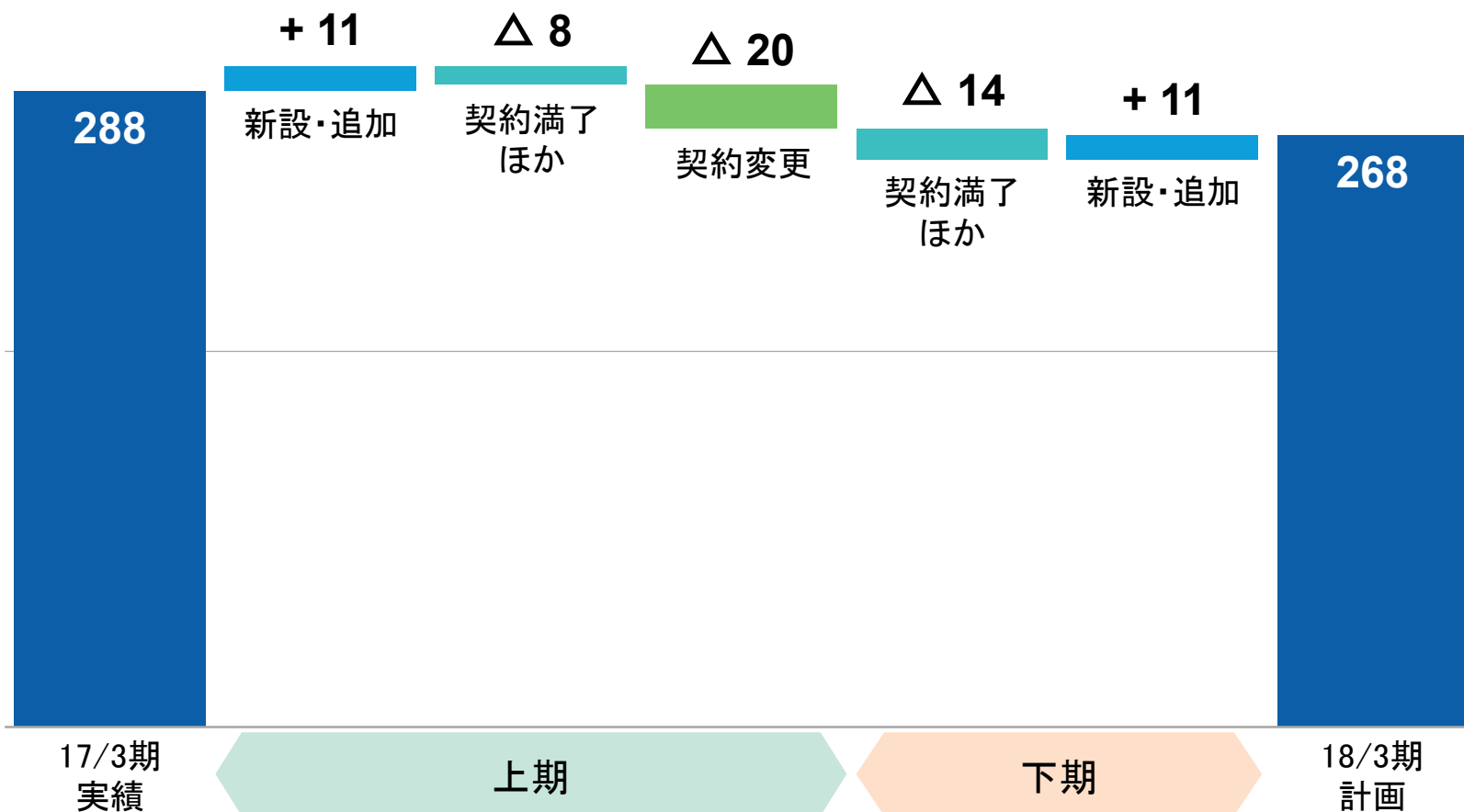
8. 超純水供給事業の売上高計画

(億円)

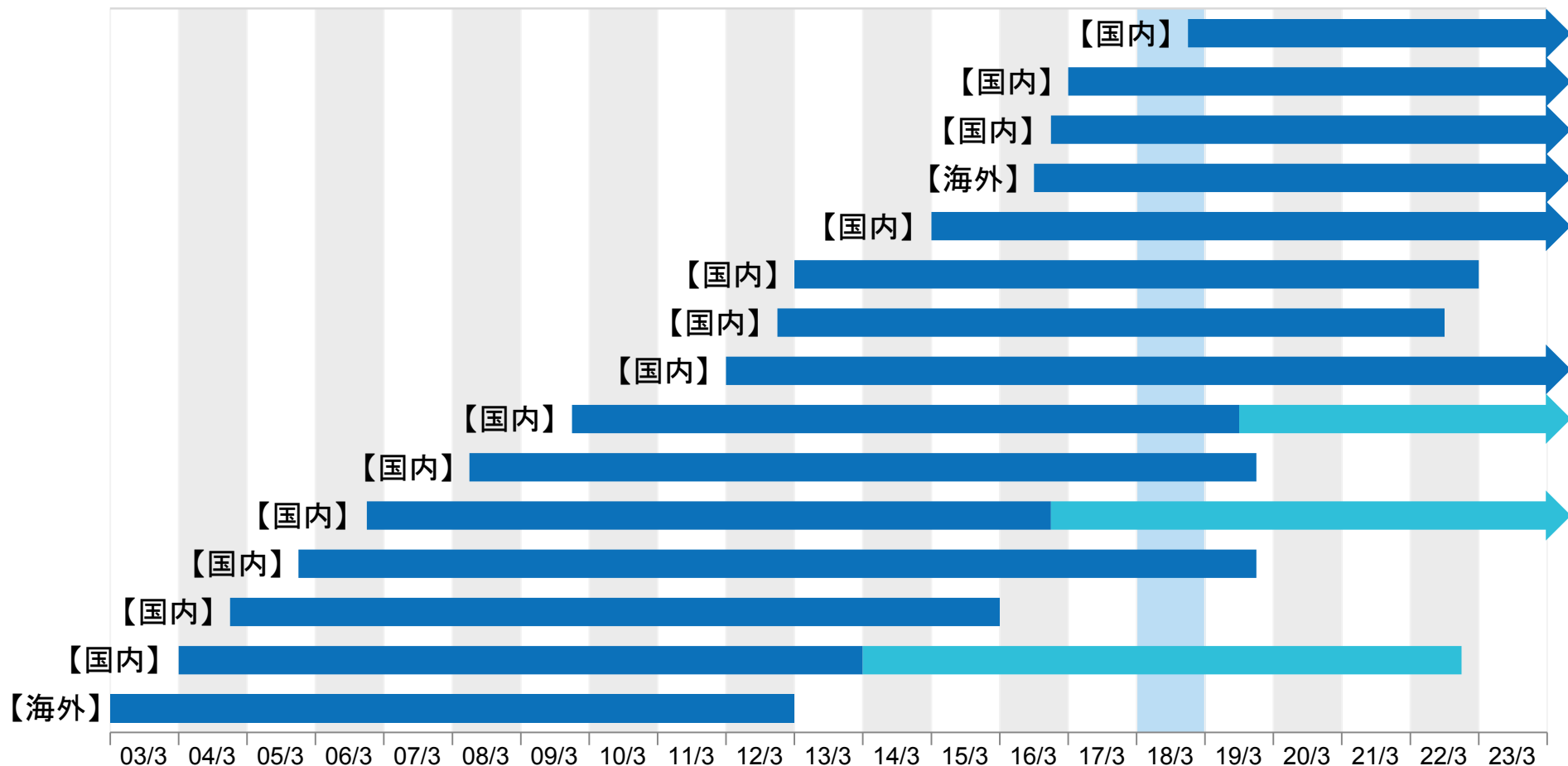
340

170

0



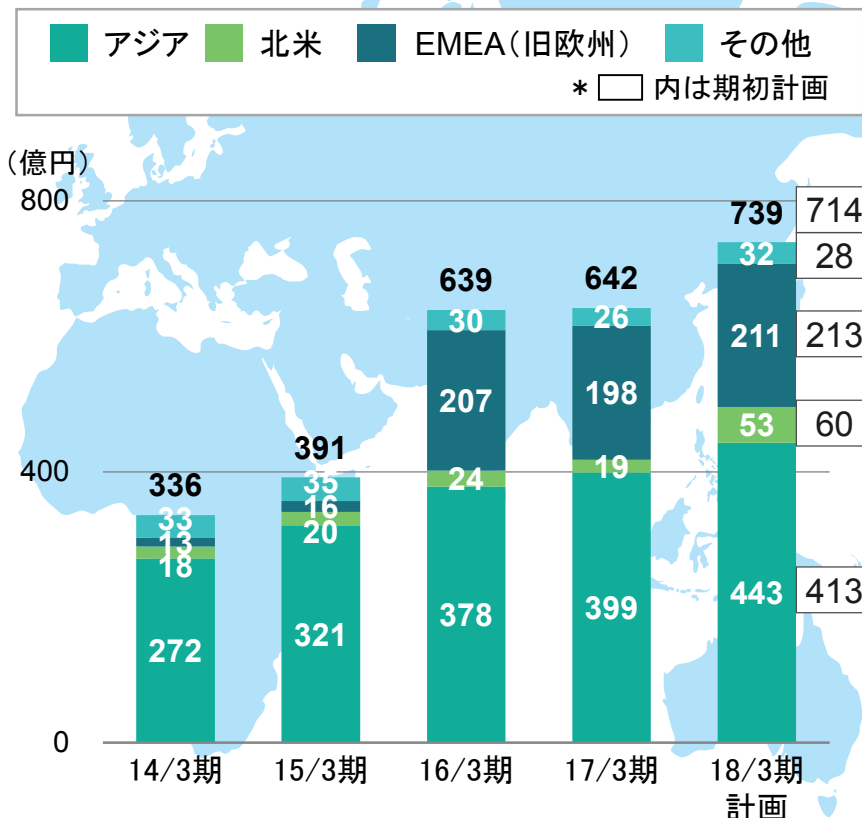
9. 超純水供給事業の主な案件



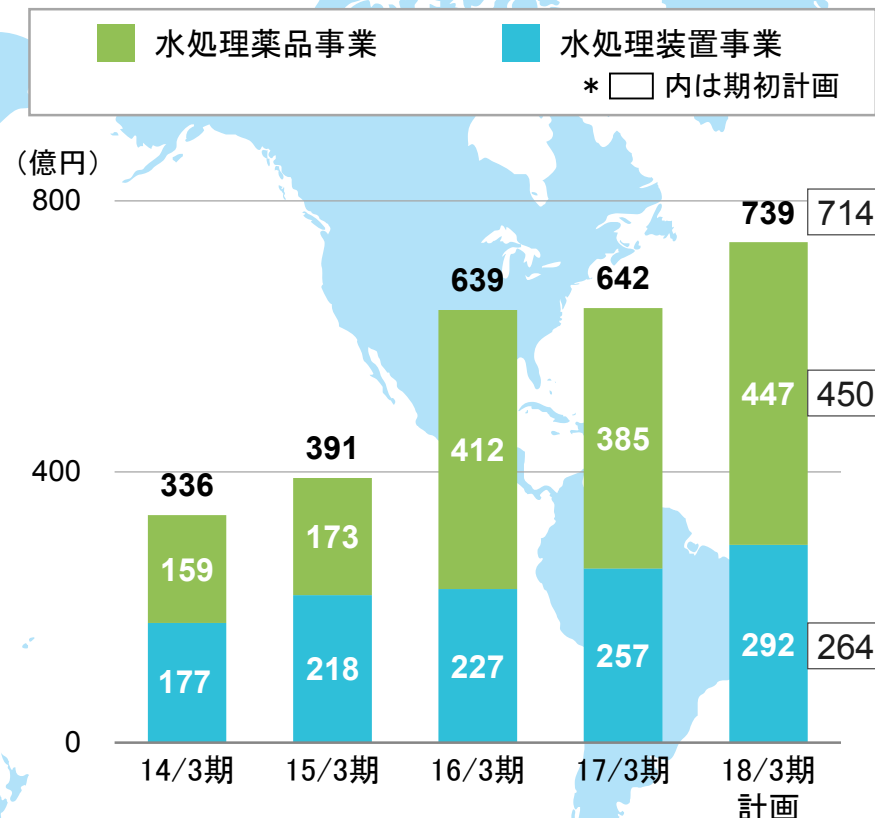
* 上記は主な契約を示しており、すべての契約を網羅するものではありません。

10. 海外事業売上高

海外地域別売上高



海外事業別売上高

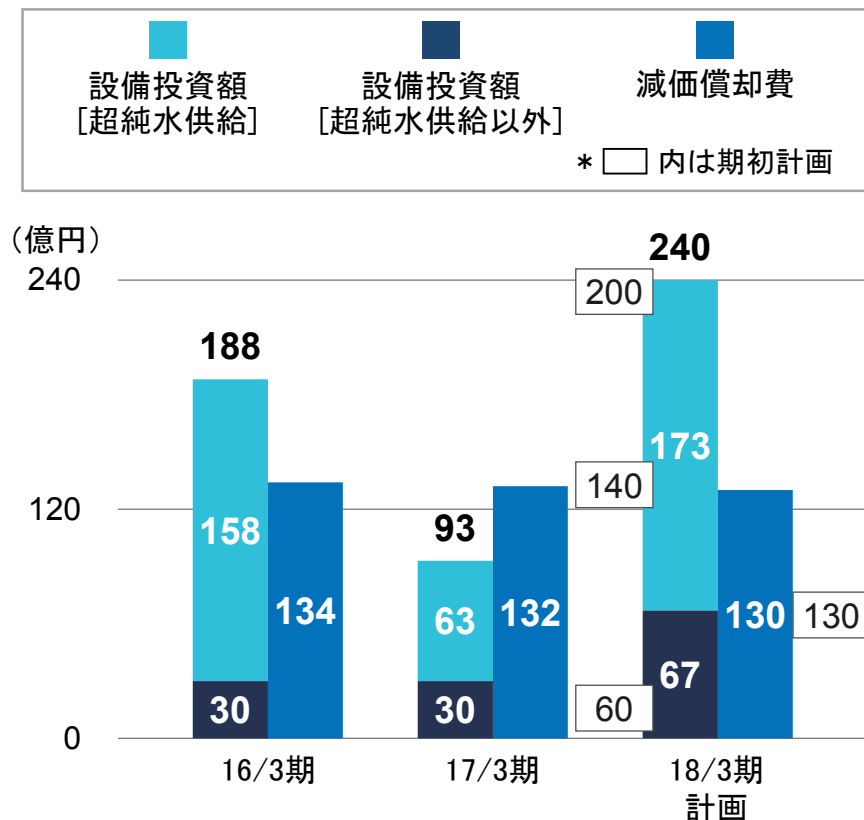


- 水処理薬品事業は増収なるも期初計画からは若干下方修正。
- 水処理装置事業は中国・韓国向けハードを減収計画から増収計画に修正。

* 16/3期より地域区分を変更しました。このため15/3期も遡って変更しています。

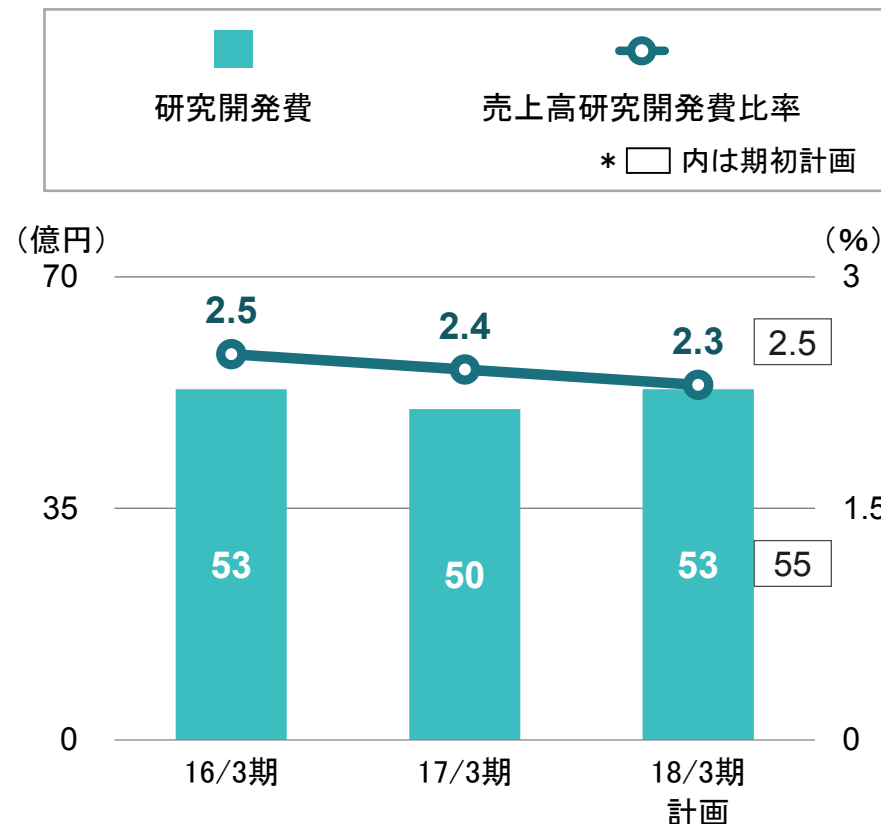
11. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



■ 超純水供給事業で追加投資が決まり期初計画を上方修正。

研究開発費



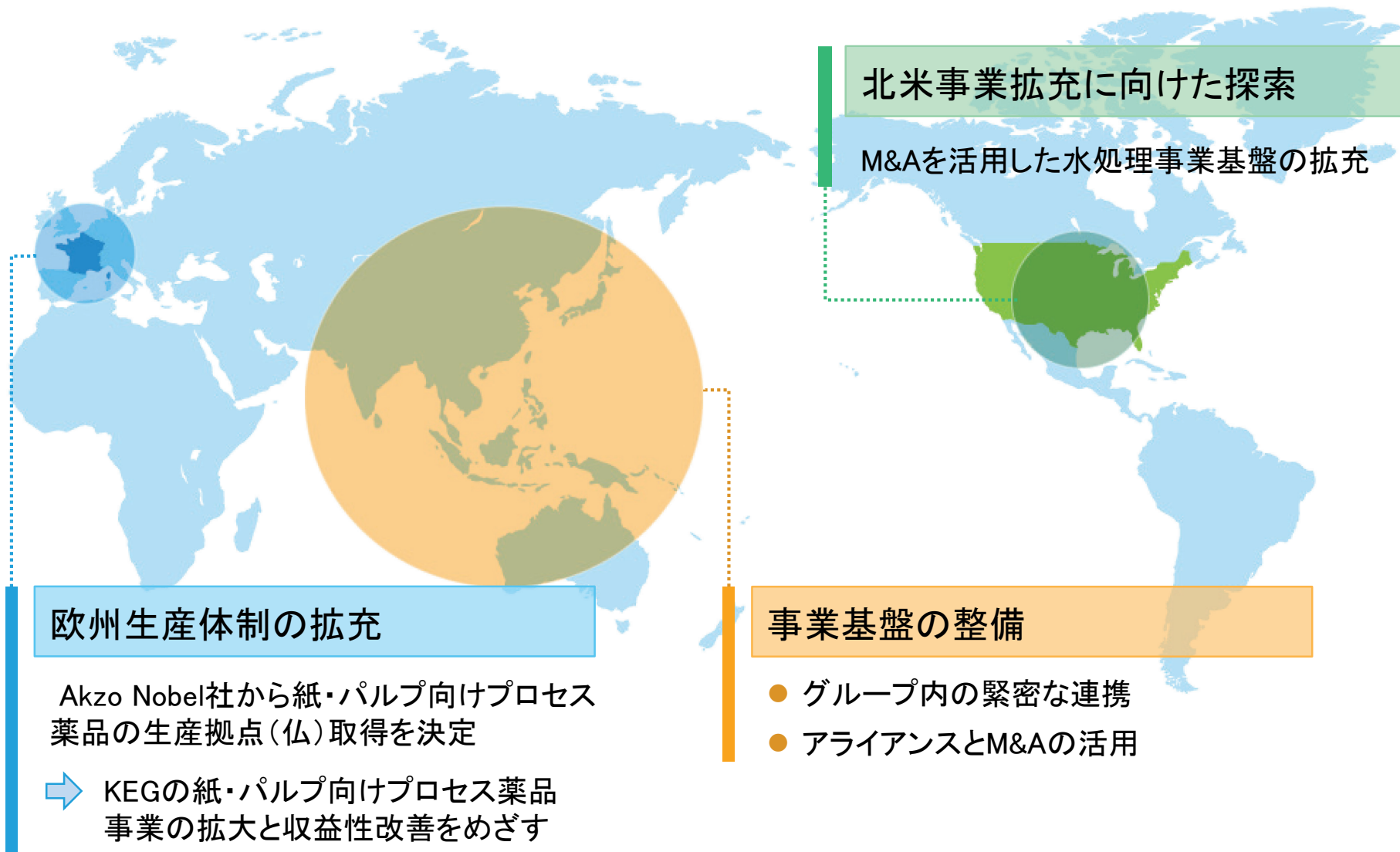
■ グローバルな開発機能強化に注力。

Ⅲ. 重点施策

1. 海外事業基盤の拡充
2. 新規サービス事業の開発
3. 事業組織変革

Ⅲ. 重点施策

1. 海外事業基盤の拡充



Ⅲ. 重点施策

2. 新規サービス事業の開発

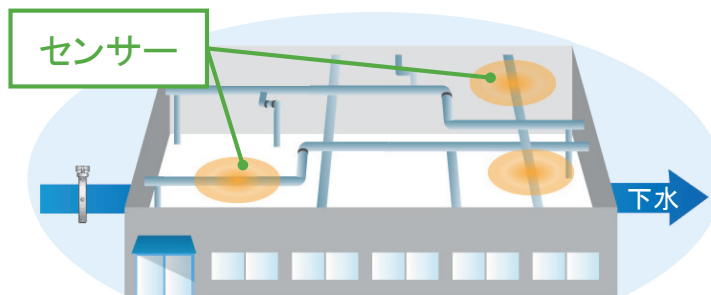
排水回収サービス (CORR™システム)



標準型排水回収サービスの構築

- 国内における納入実績の積み上げ。
- サービス契約の開発と国内外ターゲット市場への働き掛け。

商業施設の節水



IoTを活用した節水サービス

APANA社

- 新規顧客開拓により米国での契約数700に。
- 日本における事業もスタート。

クリタグループ

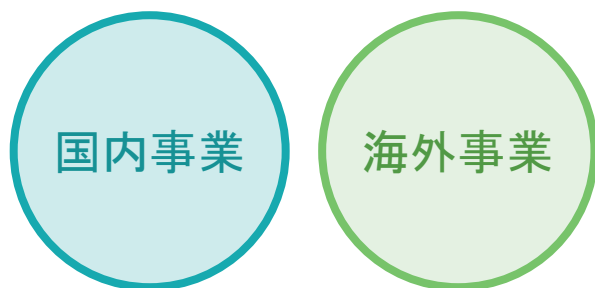
- 商業施設の節水ニーズ把握と試験導入提案。
- 工場向けソリューションビジネスの創出をめざす。

Ⅲ. 重点施策

3. 事業組織変革

～2017年3月

水処理薬品事業

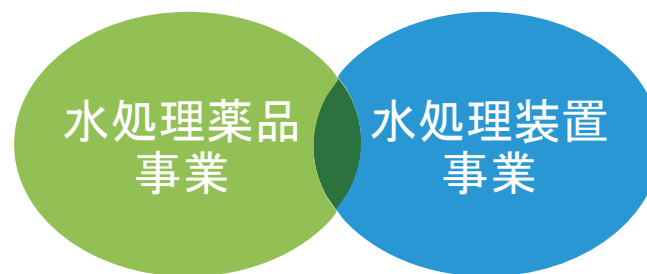


水処理装置事業



2017年4月～

海外事業

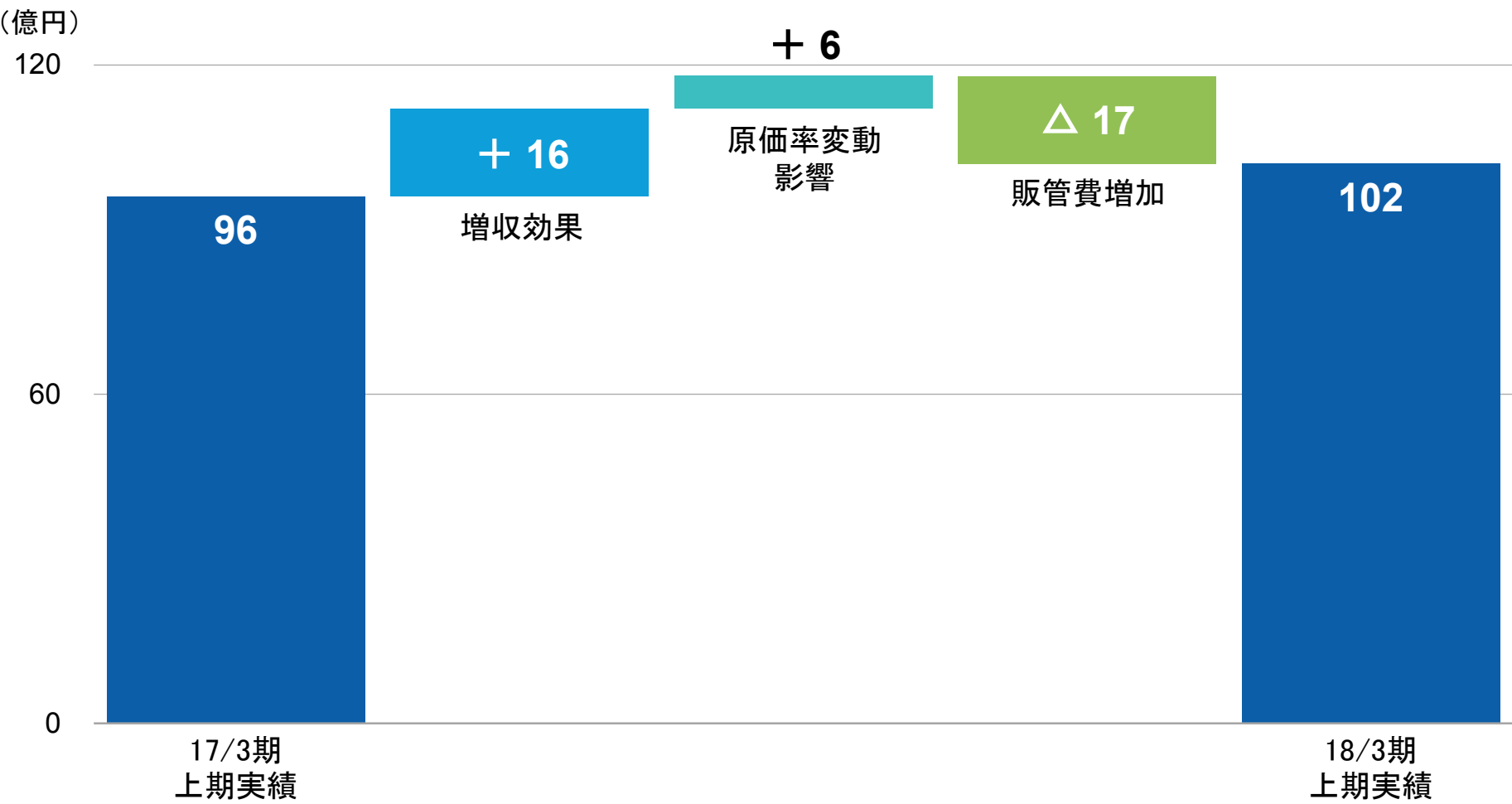


国内事業



* 2017年10月からは、評価制度も一部変更。

2018年3月期上期 営業利益増減分析



注* 原価率変動影響は、売上総利益率を用いて算出しています。



■ U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
■ M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。